

周南市庁舎建設検討市民委員会だより

H24.10.19

第2号

●これからの周南市にふさわしい庁舎のあり方について議論をし、その実現には改修より建替えの方が適していることを確認しました。

第3回委員会 平成24年10月1日(月)18時~20時40分 於 周南市役所3階 防災対策室

【議事要旨】

- *市の上位計画・関連計画における庁舎の位置づけを確認しました。
- *庁舎整備の理念とこれからの庁舎のあり方、整備の手法について議論をしました。
- *庁舎整備の理念については、庁舎整備を前向きに捉える視点が重要との指摘がありました。
- *これからの庁舎のあり方については、単に庁舎の耐震化やバリアフリー化などが進めばよいのではなく、市民が気軽に立ち寄り交流したりすることを促す場となることが重要との認識が共有されました。
- *また周南らしい庁舎を実現していくこと、現在の御幸通りと岐山通りに対するまちなみを継承していくことの重要性についての指摘がありました。
- *庁舎の整備手法については、「A.耐震リニューアル案」「B.耐震リニューアル＋一部建替え案」「C.全面建替え案」の3つを比較し、コスト及び機能の観点からC.全面建替え案が最も優れていることを確認しました。
- *委員会の議論の様子を市民に広く伝えていくために、本市民委員会だよりを委員会ごとに発行することになりました。

これからの庁舎のあり方(案)

- 全ての人に分かりやすく、利用し易い、人にやさしい庁舎
- 「安心・安全」の拠点として市民の暮らしを守る庁舎
- 市民協働の拠点として市民に開かれ親しみやすい庁舎
- 賑わいや回遊をつなげる、まちに活気を与える庁舎
- 行政サービス機能を機能的・効率的に提供できる庁舎
- 地球環境にやさしい環境配慮型庁舎



庁舎整備の手法の比較と評価

A.耐震リニューアル案	B.耐震リニューアル＋一部建替え案	C.全面建替え案
<ul style="list-style-type: none">・新たな庁舎は整備しない・分散している庁舎のうち耐震性に問題がある庁舎を耐震リニューアル(耐震補強+設備等の更新)し、問題がない庁舎は設備等の更新のみ行う・床面積 18,000 m²	<ul style="list-style-type: none">・本館・西館を耐震リニューアルする・その他の庁舎を新たな庁舎に建替え、分散している本庁舎機能を集約する・床面積 20,000 m²	<ul style="list-style-type: none">・全面的に新たな庁舎に建替える・分散している庁舎是集約する・床面積 20,000 m²
【評価】 「これからの庁舎のあり方」の実現: × 整備コスト: 約78.4億円	【評価】 「これからの庁舎のあり方」の実現: △ 整備コスト: 約83.8億円	【評価】 「これからの庁舎のあり方」の実現: ○ 整備コスト: 約83.2億円

※会議の詳しい資料や議事録については、周南市ホームページをご参照ください <http://www.city.shunan.lg.jp/>